

令和5年度 AI・IoT等を活用した 更なる輸送効率化推進事業費補助金

(新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業)

本補助金では、サプライチェーン上の複数事業者が連携して、物流システム標準化やデータの共通化、AI・IoT等の新技術の導入等によりサプライチェーン全体の物流効率化・省エネ化を達成するための実証事業を対象に、自動化機器・システム等の導入を支援します。

事業イメージ

- 1) 連携計画策定
- 2) 物流全体効率化システム導入
- 3) AI・IoT等活用新技術導入



サプライチェーン全体の
物流効率化・省エネ化の達成

申請要件

○前回公募時からの変更点

>> 令和6年度以降の複数年度に亘る事業についても応募いただくことは可能です。(翌年度以降の継続支援を受けるには毎年度委員会の審査をクリアすることが必要) この場合、**本事業による省エネ効果等の事業成果については**本年度ではなく、**補助事業の終了年度に報告**をいただくこととします。

- >> 共通システムとサプライチェーン輸送効率化機器の導入により、事業実施前と比較して、**エネルギー消費削減率が1%以上**見込まれること
- >> サプライチェーン全体での連携計画を策定する取り組みであること
(発荷主・輸送事業者・着荷主を含む**3者以上の連携**)
- >> サプライチェーン輸送効率化機器については、**共通システムとの連携やデータを利活用**するものとし、エネルギー使用量の削減やエネルギー使用原単位の改善に加えて、自動化・省人化による生産性向上効果が大いこと
- >> 活用する技術における**革新性が高い**こと
- >> **他事業への普及・展開が可能**であること
- >> サプライチェーン輸送効率化機器について、**AI・IoT等を活用した新技術**であり、共通システムと連携して活用されること
- >> エネルギーの削減量及び削減率について、補助事業申請時に算出過程や根拠を含めて計画値を示すとともに、事業完了後に実績を報告すること
- >> エネルギー使用量の実績報告として、①補助事業実施前、②サプライチェーン輸送効率化機器の導入後・共通システム導入前、③共通システム導入後の3段階に分けて計測すること
- >> 原則として**連携事業に参画する全ての事業者が、物流情報標準ガイドライン**(内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第2期スマート物流サービス 物流情報標準化検討委員会) **を活用している若しくは将来的に活用していく意思**を有すること。

※その他要件の詳細については、補助事業ホームページに掲載の公募要領をご確認ください。

補助対象経費

経費項目	内容	補助率
共通システム事業費 (物流全体効率化システム導入費)	発荷主・輸送事業者・着荷主等の連携に必要な共通システムに要する経費	1/2以内
サプライチェーン輸送効率化機器事業費 (AI・IoT等活用新技術導入費)	共通システムと関連する輸送効率化機器※の導入に要する経費 ※共通システムと連係して作動するものや共通システムの出力したデータ等を活用して作動するもの等。	1/2以内

- ・本補助金の申請にあたっては、必ず公募要領をご確認ください。
- ・補助金の交付決定前に行われた契約や発注等は、補助対象外となります。
- ・補助事業を実施途中で取りやめた場合は、補助金の返還が必要となることがあります。
- ・補助事業完了後に会計検査院が実地検査に入ることがあります。
- ・本事業の内容・成果について、事務局から発表の依頼等をする場合がございます。

申請についてご不明な点は、下記までお気軽にお問合せください。

株式会社NX総合研究所

令和5年度「新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業」担当あて

<https://www.nx-soken-hojo.jp/>

全体スケジュール

公募期間 2023年10月3日（火）～2023年10月31日（火）

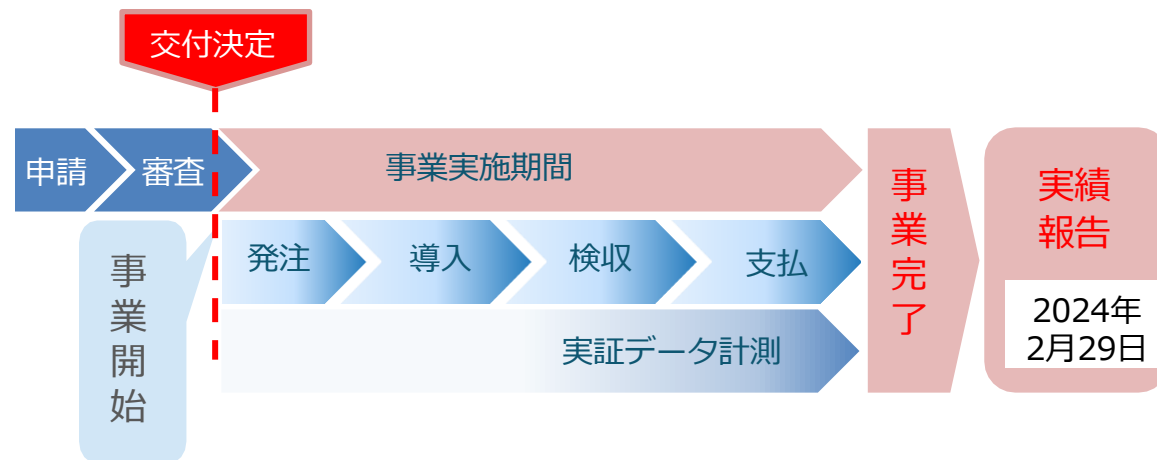
交付決定 2023年11月中旬以降（予定）

事業期間 交付決定日～2024年2月29日（木）

※公募開始後に公募説明会を実施いたします。

詳しくは補助事業ホームページにて

<https://www.nx-soken-hojo.jp/>



※発注や契約は必ず交付決定後に行ってください。交付決定前の発注・契約は補助対象外となります。